

平成29年度 鳥取市市民まちづくり提案事業【協働事業部門(行政提案型事業)】 事業実績一覧

No	団体名	事業概要	協働による効果	課題に対する成果	市助成金(円)	その他特筆すべき事項
	事業名				事業費(円)	
1	福部町浜湯山・多鯨ヶ池 活性化委員会	【目的】 鳥取砂丘・多鯨ヶ池などを含む「福部町わがまち自慢発掘プロジェクト」を通じて、特に次世代を担う子供たちと一緒に地域ごと・各集落ごとに「集落名の謂れ」「伝説」「古墳」「古道」「伝統芸能」など集落に残る歴史的遺産やお宝を掘り起こし、地域に対する愛情を醸成することを目的とする。 地域の子供たちを中心に自分たちの住む地域の魅力を再発見することで地域愛を育み、鳥取砂丘・多鯨ヶ池をはじめとする山陰海岸ジオパークの持続可能な普及活動のきっかけとする。	協働活動の「福部町わがまち自慢発掘プロジェクト」を推進することにより、官民一体の活動交流が図られ、ジオパークへの認識と理解が高まり将来を担う子供たちの地域愛が醸成された。 特に、比較的短期間に調査・古写真収集原稿作成・内容チェック・印刷手配と日程が厳しい中、協働による役割分担を越えて個人秘蔵写真の提供や個人所有の歴史資料の提供に加えて文章の校正など、強力なサポートが得られたことが収穫であった。(この後の他の展開にこのネットワークが大いに役立つと感じられた。)	課題: 地域主体のボトムアップでつながる山陰海岸ジオパーク事業 成果: 課題に対して今回の活動(官・学・民による協働)を契機に福部未来学園では新たな取組として「福部みらい」授業カリキュラムを設けて、それぞれの分野に精通した福部の住民(「歴史」「文化」「産業」「観光」など)を教師として福部のことをもっと知ろうというテーマを子供たちに伝えることができることとなった。	400,000円	委員会が目標としている「地域創世の原動力は、地域への愛着や地元愛の強さが原動力となる」が今回の活動で契機になることを強く感じた。
	福部町わがまち自慢発掘プロジェクト	【内容】 福部未来学園の生徒が中心になって福部町の歴史・文化・産業・観光を調査して文化祭で発表、また、委員会で調査内容「歴史読本」にまとめる。 1 福部未来学園生徒を中心とした調査・発表 (1)調査活動 実施日 令和元年10月10日 実施場所 福部町全域 参加者 福部未来学園生徒5年生(25名)、同学園教師(5名) 概要 5年生が「歴史」「文化」「産業」「観光」のグループに分かれそれぞれ現地調査 (2)調査発表 令和元年11月2日 福部未来学園文化祭で5年生が調査結果を発表 2 古写真の収集 令和元年10月 収集した古写真は福部地区公民館祭で展示 3 福部歴史読本の発行 令和元年12月から編集委員が原稿執筆をはじめ、令和2年2月にWeb版、3月に冊子が完成			400,000円	
1	鳥取市スケートボード場 利用者協議会	【目的】 スケートボード競技者の知識・技術の向上に加え、スケートボードを通じて世代間の交流によりルールやマナーを学ぶ場を作り、スケートボード競技の普及を目的に行う。 本事業の活用により臨時スケートボード場で行っている本協議会のスケートボード教室を鳥取市内各所で出前教室として開催することができ、こうした取組を通じてオリンピック種目でもあるスケートボード競技のイメージ向上を図り、スケートボードを行いたい方、自己表現の場を求め方々への参加の呼びかけを効果的に行うことができ、さらに人が集まる交流の場として効果が期待できる。	臨時スケートボード場以外で行う場所の確保が市を通じて実施でき、スケートボード競技をPRすることができた。 臨時スケートボード場の存在を知らない参加者もあり、臨時ではあるが施設への周知を行えた。 参加者や会場へ訪れていた方、チラシ等(市と協働で作成)を使ってスケートボードのPRができた。 体験者には、スケートボードのマナーアップへの理解を深めてもらうことができた。	行政課題: スケートボードを通じた社会教育環境の構築につながる事業 成果: 参加者、会場に訪れていた方にもスケートボードを知ってもらうことができた。 ・経験者がアドバイスすることで初めての方にも安全に楽しんでもらえた。 ・会場となった場所で初体験の子もおり、にぎわいを創出できたと思う。 ・自由に参加できることで子供の居場所づくりの面で貢献できたと思う。 課題: 安全に配慮した場所を考慮すると適地が少なく、専用のスケートボード場の必要性を感じた。 ・夏場は気温が高いので避ける、又は時間帯を夕方にする、子供連れの方も多く、子供が遊んでいる間見守りながら座って休憩できるスペースを設ける等の工夫が今後は必要と感じた。	400,000円	
	スケートボード出前教室	【内容】 各出張所の来場者を対象に初心者向けのスケートボード場体験を実施。乗り方やバランスのとおり方を時間の許す限り丁寧に教えた。経験者には普段使用している臨時スケートボード場では体験できない新たなスケートボードセクションを利用し新しい体験を経験させた。また、会場においてチラシ・看板等で臨時スケートボード場及びスケートボード教室のPRを行った。 1 ガイナーレホームタウン・デイ ア 実施日 令和元年8月10日 イ 実施場所 バードスタジアム・メインスタンド側駐車場 ウ 参加者 ガイナーレホームタウン・デイ来場者11名 2 マリンピア賀露 ア 実施日 令和元年10月20日 イ 実施場所 「カニっこ館駐車場」 ウ 参加者 13人 3 道の駅西いなば「気楽里」 ア 実施日 令和元年10月27日 イ 実施場所 「気楽里」駐車場 ウ 参加者 11人 4 12月1日のスクール開放 ア 令和元年12月1日 イ 実施場所 鳥取市臨時スケートボード場 ウ 参加者 20人程度			395,000円	